



ROG GR8

ユーザーマニュアル

J9561

初版

2014年9月

COPYRIGHTについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害(利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む)に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2014 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害(死亡したケースを含む)と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証も行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトを開設しました。下のリンクで画面右上の「Global/English」を「Japan/日本語」に選択してください。
<http://support.asus.com>

もくじ

このマニュアルについて.....	5
このマニュアルの表記について.....	5
表記.....	5
パッケージの内容.....	6

Chapter 1 ROG GR8の概要

各部の名称と機能.....	8
フロントパネル.....	8
底面.....	10
トップ.....	10
バックパネル.....	11

Chapter 2 ROG GR8を使用する

使用の手引き.....	14
ROG GR8を設置する.....	14
電源アダプターを接続する.....	15
ディスプレイを接続する.....	17
キーボードとマウスを接続する.....	18
本機の電源をオンにする.....	19
Miracastレシーバーを使用する.....	20
電源をオフにする.....	23
スリープ状態にする.....	24
UEFI BIOS Utilityを起動する.....	24
UEFI BIOSへのクイックアクセス.....	25
Windows® 8.1の標準機能を利用してUEFI BIOSの設定画面を開く.....	25
本機の電源をオフにする.....	26
スリープ状態にする.....	26
BIOS Setupを起動する.....	26
Windows® 8.1でのリカバリーオプション.....	27
システムをリカバリーする (OS搭載モデルのみ).....	27
PCのリフレッシュ.....	27
システムイメージファイルからのリカバリー.....	28
PCのリセット.....	31

もくじ

Chapter 3	ROG GR8のアップグレード	
	メモリーをアップグレードする	36
	2.5インチストレージドライブの取り付け	41
Chapter 4	付録	
	安全上の注意	48
	システムをセットアップする	48
	使用中のお手入れ	48
	電気・電子機器に含有される化学物質の表示 について	49
	ご注意	50
	ASUSコンタクトインフォメーション	56

このマニュアルについて

このマニュアルには本機のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1: ROG GR8の概要

本機のハードウェアコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2: ROG GR8を使用する

本機の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3: ROG GR8のアップグレード

メモリーと記憶ドライブのアップグレード等に関する説明が記載されています。

Chapter 4: 付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない指示です。

注: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

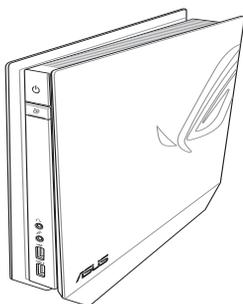
警告: 作業を完了する際、人体への危険を避けるため、また本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない指示です。

表記

- 太字** 選択するメニューや項目を表示します。
- <> 操作のために押す、キーボード上のキーです。

パッケージの内容

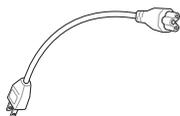
製品パッケージに以下のものが揃っていることをご確認ください。



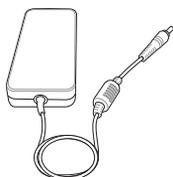
ROG GR8



取扱説明書



電源ケーブル*



ACアダプター*



ネジのセット

注: 実際の製品仕様とパッケージの内容は国または地域およびモデルにより異なります。

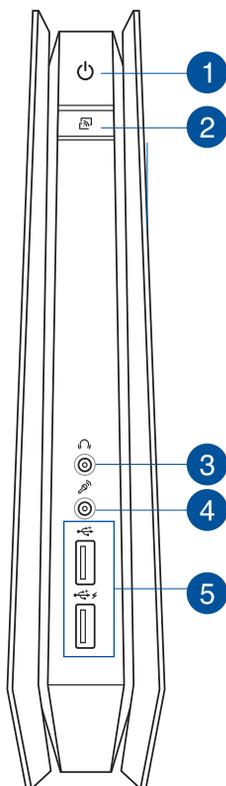
重要: 本体、キーボード、マウスは通常のご使用条件で使用し不具合が発生した場合、保証期間内であれば無料で修理・交換致します（その他付属品・ディスク等は保証適用外です）。なお、保証を受けるには保証書をASUSのコールセンターまでご送付いただく必要があります。

ROG GR8の概要

1

各部の名称と機能

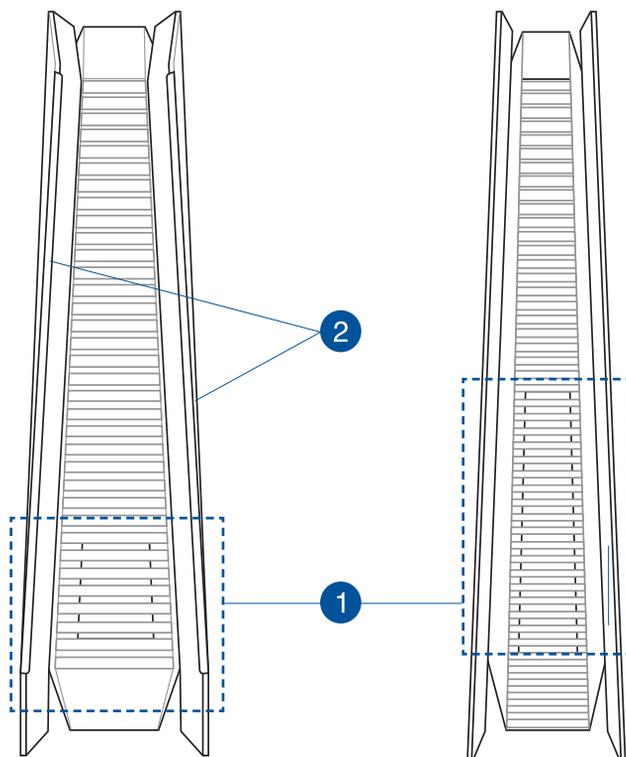
フロントパネル



- 1  **電源ボタン**
本機の電源のオン/オフを切り替えます。
- 2  **Miracastレシーバーボタン**
Miracastレシーバーボタンは、本機の画面表示をMiracast対応デバイスに複製して表示(ミラーリング)することができます。
- 3  **ヘッドホンジャック**
このジャックはシステムオーディオ出力をヘッドホンに出力します。
- 4  **マイクジャック**
マイクを接続します。ビデオ会議や音声ナレーション、録音等にご使用いただけます。
- 5  **USB 2.0ポート (USB Charger機能搭載)**
USB 2.0対応のキーボードやマウス、フラッシュドライブ、外付けHDD、スピーカー、カメラ、プリンター等のデバイスを接続することができます。
⚡アイコンの表示が存在する特定モデルの場合、このUSBポートはUSB Charger機能に対応しており、本機がスリープ/休止状態/S5状態でもモバイルデバイスを急速充電することができます。

底面

トップ



1

通気孔

通気孔から本体外部の空気が内部に取り込まれ、内部の温まった空気を外部に排出し、本機の温度上昇を防ぎます。

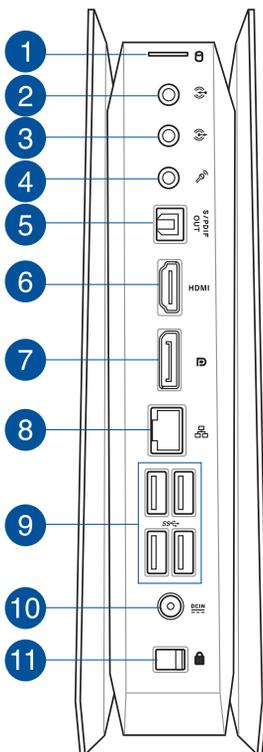
重要: 通気口からは高温の空気が排気されます。故障や事故の原因となりますので、人体、紙、本、衣類、ケーブルなどを密接し塞がないようにしてください。

2

ラバーフット

本機を縦置き設置したとき、本機が滑って倒れるのを防ぎます。

バックパネル



- 1**  **HDD/ドライブLEDインジケータ**
本機が内部記憶装置にアクセスしているときに点灯します。
- 2**  **オーディオ入力ジャック**
8インチのステレオ入力ジャックです。ステレオオーディオソースを接続します。この機能は主にマルチメディアアプリにオーディオを追加する際に使用されます。
- 3**  **オーディオ出力ジャック**
本機のオーディオ出力信号をアンプやヘッドホンに接続します。

- 4  **マイクジャック**
マイクを接続します。ビデオ会議や音声ナレーション、録音等にご使用いただけます。
- 5  **光デジタル(S/PDIF)出力ポート**
光デジタルS/PDIFケーブルで外部オーディオ出力デバイスを接続します。
- 6  **HDMI ポート**
液晶TVやディスプレイやフルHDデバイスをサポートしています。より高画質で大きな画面での映像が楽しめます。
- 7  **DisplayPortポート**
DisplayPort対応ディスプレイを接続します。
- 8  **LANポート**
8ピンRJ-45LANポートは標準イーサネットケーブルに対応し、LANに接続することができます。
- 9  **USB 3.0ポート**
5Gbit/sのデータ転送速度を提供し、USB2.0との下位互換性があります。
- 10  **電源入力(DC19V)**
付属のACアダプターを接続し、本機に電源を供給します。付属のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因となります。

警告: ACアダプターは、使用中高温となることがあります。アダプターを物で覆ったり、また身体に密着させて使用しないでください。

- 11  **カバーロックラッチ + Kensington® セキュリティスロット**
カバーロックラッチにより、本機にサイドカバーを固定します。
Kensington® 互換セキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。

ROG GR8を使用する

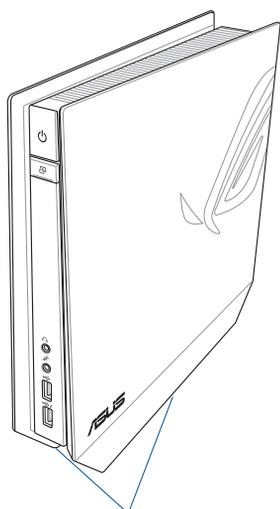
2

使用の手引き

ROG GR8を設置する

本機は縦置き設置と横置き設置の両方に対応しています。設置する際は、平らで安定した場所に設置してください。また、ラバースタッドやラバーフットが設置面に接触していることを確認してください。

縦置き

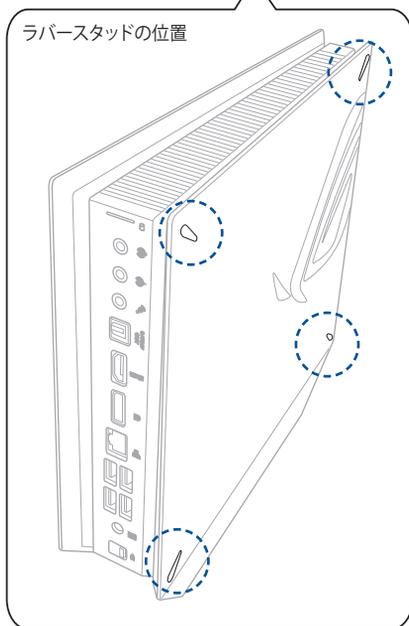


ラバーフット

横置き



ラバースタッドの位置

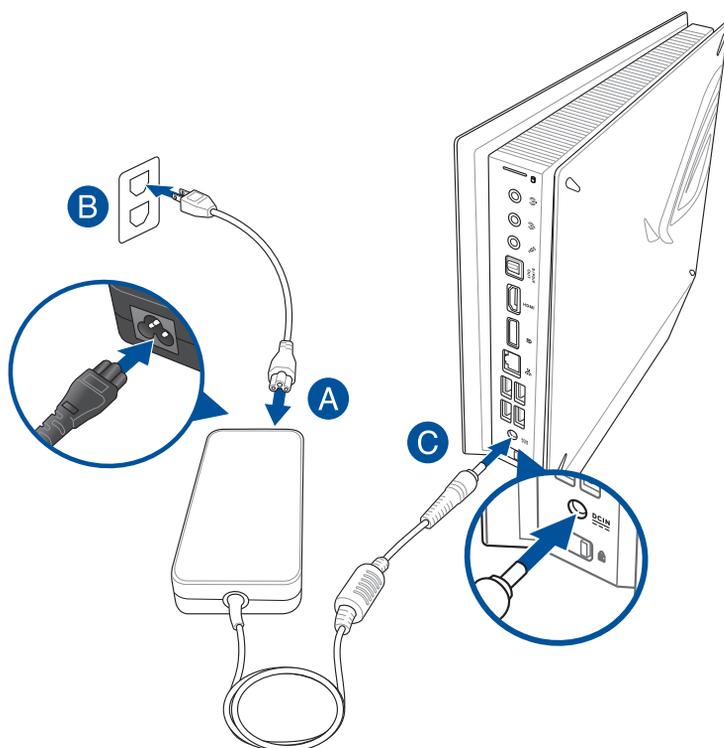


電源アダプターを接続する

手順

- 電源コードをACアダプターに接続します。
- 電源コードを100V~240Vの電源に接続します。
- 電源コネクタを本機の電源入力ポートに接続します。

注: 国や地域、モデルにより、電源アダプターの外観は異なります。



重要:

- 本製品付属のACアダプター以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターと電源コードを他の製品に使用しないでください。故障の原因となります。
 - 本機を使用する際は、本機が接地された電源コンセントに接続されていることをご確認ください。
 - 本機を電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
 - 主電源から本機を切断するには、電源コンセントから本機を切断してください。
-

ディスプレイを接続する

本機にディスプレイまたは 프로젝ターを接続することができます。サポートしている接続タイプは次のとおりです。

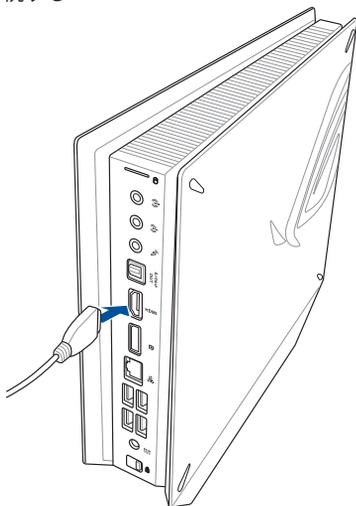
- HDMIコネクタ—
- DisplayPortコネクタ—
- VGAコネクタ (DisplayPort-VGAアダプター、または HDMI-VGAアダプターと併用)
- DVIコネクタ (HDMI-DVIアダプターと併用)

注: HDMI-DVI アダプター、DisplayPort-VGAアダプター、HDMI-VGAアダプターは別途お買い求めください。

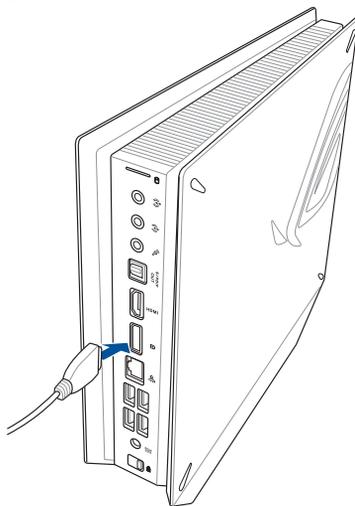
手順

HDMI ポートまたはDisplayPortポートにディスプレイケーブルを接続します。

HDMIポートにディスプレイを接続する



DisplayPortポートにディスプレイを接続する



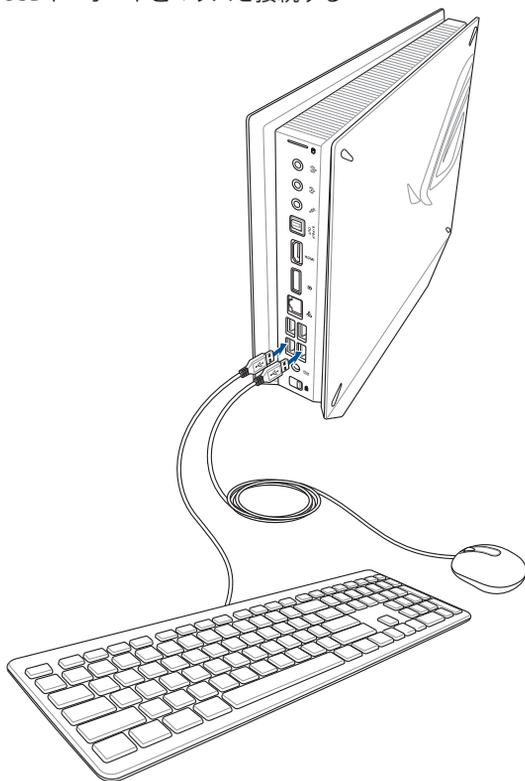
キーボードとマウスを接続する

本機にUSBキーボード/マウスを接続することができます。また、ワイヤレスキーボード/マウス用のUSB dongleを接続することもできます。

手順

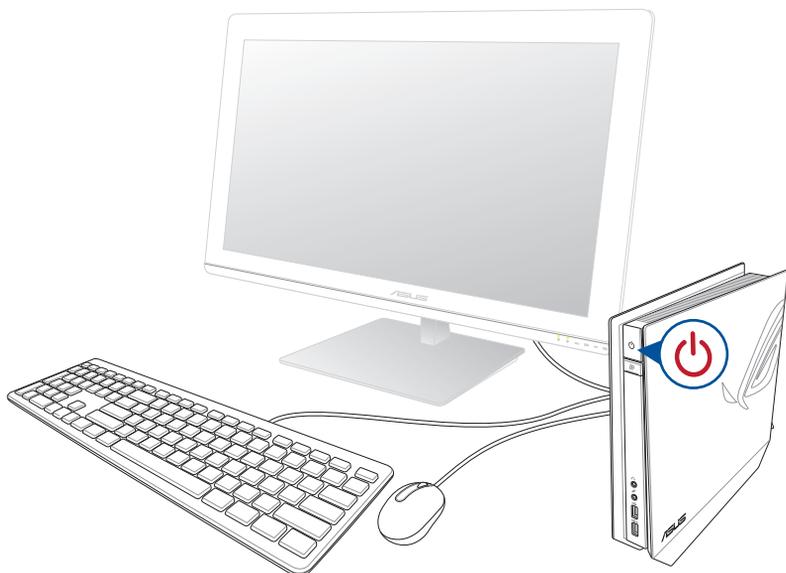
USBキーボード/マウスのケーブルを本機のUSB 2.0/3.0ポートに接続します。

USBキーボードとマウスを接続する



本機の電源をオンにする

電源ボタンを押し、電源をオンにします。



Miracastレシーバーを使用する

Miracastレシーバーは、ディスプレイの表示をMiracast対応デバイスまたはコンピューターに複製して表示(ミラーリング)することができます。

注: MiracastディスプレイはHDMIポートでのみサポートされています。

Miracast対応のAndroidデバイスを接続する

1. 本機に付属の電源アダプターを接続します。
2. Miracastレシーバーボタンを押します。

注: Miracastレシーバーの機能が有効にすると、レシーバーボタンのLEDが点灯し赤に変わります。

3. Miracast対応Androidデバイスでは、Wi-Fi オプションがオンになっていることをご確認し、Miracastアプリを起動します。

注:

- Android デバイスでは、Miracastは次のように識別される場合があります。
Wireless Display、Screen Mirroring、All Share Cast
 - Miracastは、4.2またはそれ以降のバージョンのAndroid デバイスでサポートされています。
-

4. ディスプレイを検索し、本機に表示されるSSID(ネットワーク名)を参照します。本機ののSSIDを選択し、Miracast対応Androidデバイスとのペアリングを実行します。

Windows® 8.1 / Windows® 8.1 PROデバイスを接続する

1. 本機に付属の電源アダプターを接続します。
2. Miracastレシーバーボタンを押します。

注: Miracastレシーバーの機能が有効になると、レシーバーボタンのLEDが点灯し赤に変わります。

3. Windows® 8.1 / Windows® 8.1 PRO OSデバイスで、チャームバーを起動し、「デバイス」を選択します。



4. 「デバイス」で「Project」を選択し、本機のSSID (ネットワーク名) をクリックします。

Windows® 8.1 PROを使用している場合は、「デバイス」→「表示」→「ワイヤレス ディスプレイの追加」の順にタップします。「ワイヤレス ディスプレイの追加」で「デバイスの追加」をクリックします。

5. 本機に表示されるWPS PINを入力し、Windows® 8.1 / Windows® 8.1 PROデバイスから本機へのスクリーンキャストを開始します。

Intel® WiDi 対応デバイスに接続する

1. 本機の電源をオンにします。
2. Miracastレシーバーボタンを押します。

注: Miracastレシーバーの機能が有効になると、レシーバーボタンのLEDが点灯し赤に変わります。

3. 使用デバイスから「**Intel WiDi**」を起動します。
4. 「**検出されたアダプター**」ウィンドウから本機のSSIDを選択し、「**接続**」をクリックします。
5. TVのディスプレイに表示されるWPS PINを入力し、「**次へ**」をクリックします。
6. 接続されると、TVのディスプレイに本機と同じコンテンツが表示されます。

電源をオフにする

- スタート画面上の電源ボタンから「シャットダウン」をクリックします。
- チャームバーの電源ボタンから「シャットダウン」をクリックします。
- デスクトップモード上のスタートボタンを右クリックして「シャットダウンまたはサインアウト」から「シャットダウン」をクリックします。
- Windows®の初期設定では、電源ボタンを軽く1回押すとシャットダウンが可能です。

システムからの応答がない場合は、電源ボタンを約4秒間押し、強制終了を行います。

注: 強制終了を行うと、アプリケーションで保存していないデータは失われる可能性があります。

スリープ状態にする

- スタート画面上の電源ボタンから「スリープ」をクリックします。
- チャームバーの電源ボタンから「スリープ」をクリックします。
- デスクトップモード上のスタートボタンを右クリックして「シャットダウンまたはサインアウト」から「スリープ」をクリックします。
- Windowsの設定変更を行えば、電源ボタンの操作でスリープが可能になります。

UEFI BIOS Utilityを起動する

UEFI BIOS Utilityはシステムの起動に必要なハードウェアを制御するプログラムです。

UEFI BIOSのデフォルト設定は通常の使用環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。以下の状況以外では、デフォルト設定のまま使用することをお勧めします。

- システム起動時にエラーメッセージが表示され、UEFI BIOS Utilityを起動するように指示があった場合。
- UEFI BIOSの設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合。

警告: 不適切な設定を行うと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出る場合があります。設定を変更する際は、専門知識を持った技術者のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

UEFI BIOSへのクイックアクセス

手順

- 電源ボタンを約4秒間押し電源をオフにします。電源ボタンを押して電源をオンにし、POSTの段階で<F2>またはを押します。

注: OS起動中に本操作の実施はお勧めできません。OSを起動した状態で操作する場合は、「Windows®の標準機能を利用してUEFI BIOSの設定画面を開く」をご参照ください。

- システムの電源がオフの状態、本機から電源コードを抜きます。再び電源コードを本機に接続し、電源ボタンを押して電源をオンにし、POSTの段階で<F2>またはを押します。

注: POST (Power-On Self Test) はシステム起動時に実行されるシステム自己診断テストです。

Windows® 8.1の標準機能を利用してUEFI BIOSの設定画面を開く

- スタート画面上でチャームバーを起動し、「設定」→「PC設定の変更」→「保守と管理」の順にクリックします。
- 「回復」をクリックし、「PCの起動をカスタマイズする」の下にある「今すぐ再起動」をクリックします。
- 「お待ちください」のメッセージが出た後に「オプションの選択」画面が出現します。
- 「オプションの選択」で「トラブルシューティング」をクリックし、「詳細オプション」をクリックします。
- 「UEFIファームウェアの設定」をクリックし、次の画面で「再起動」をクリックします。
- 再起動をする際、画面に表示されるキーの操作なしにUEFI BIOSを開くことができます。

本機の電源をオフにする

本機からの応答がない場合は、電源ボタンを約4秒間押し、強制終了を行います。

注: 強制終了を行うと、アプリケーションで保存していないデータは失われる可能性があります。

スリープ状態にする

システムをスリープ状態にするには、電源ボタンを1度押します。

BIOS Setupを起動する

BIOS (Basic Input and Output System) ではシステムの起動に必要なハードウェア設定を保存することができます。

BIOSのデフォルト設定は殆どの環境で最適なパフォーマンスを実現できるよう保存されています。以下の状況以外では、デフォルト設定ままで使用することをお勧めします。

- システム起動中にエラーメッセージが表示され、BIOS Setupを起動するように指示があった場合。
- BIOS設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合。

警告: 不適切なBIOS設定を行うと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出る場合があります。設定変更の際は、専門知識を持った技術者等のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

Windows®8.1でのリカバリーオプション

システムをリカバリーする (OS搭載モデルのみ)

PCのリフレッシュ

PCの動作が不安定なとき等に、お客様のデータや設定を削除せずに短時間でシステムのリフレッシュを試みることができます。

重要:

- 個人用ファイルとパーソナル設定は変わりません。
- PCの設定は初期状態に戻ります。
- Windows® ストアからインストールしたアプリは残ります。
- ディスクまたはWebサイトからインストールしたアプリは削除されます。
- 削除されたアプリの一覧はデスクトップに保存されます。

手順

1. スタート画面上でチャームバーを起動し、「設定」をクリックします。
2. 「PC設定の変更」→「保守と管理」→「回復」の順にクリックします。
3. 「PCをリフレッシュする」の下にある「開始する」をクリックします。
4. 「お待ちください」のメッセージの後に出現する確認画面の内容を読み、「次へ」をクリックします。
5. 「PCをリフレッシュする準備ができました」の画面で「リフレッシュ」をクリックします。

6. 「再起動しています」の画面の後にPCが再起動されリフレッシュが開始されます。
7. Windows® のセットアップと異なり、アカウント等の設定入力は求められずにリフレッシュが完了します。

システムイメージファイルからのリカバリー

USBリカバリードライブを作成し、リカバリーの際に使用することができます。

重要: 内蔵HDDのパーティションを変更または削除後、或は、OSをバージョンアップした後等、HDD上のリカバリーパーティションが利用不能となる場合があります。このような状態でPCを出荷時のOSに戻す場合、以下で作成方法をご案内するUSBリカバリードライブが必須となります。なお、作成したUSBリカバリードライブは、トラブルが起きた時に利用できるように大切に保管してください。

USBリカバリードライブの作成

リカバリーに使用するUSBデバイスには、最低16GBの空き容量（またはセットアップ画面に16GB以上の容量が表示されている）必要があります。

リカバリードライブの作成を実施すると、USBストレージデバイス内のファイルは全て削除されます。リカバリードライブ作成の前に、重要なデータのバックアップを実施してください。

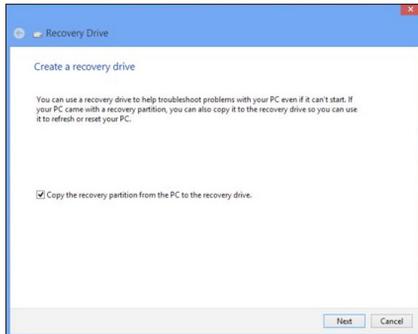
手順

1. スタート画面上のをクリックして「アプリ」画面を開き、「コントロールパネル」をクリックします。

詳細は、「Windows® アプリと一緒に使用する」の「アプリ画面にアクセスする」をご参照ください。

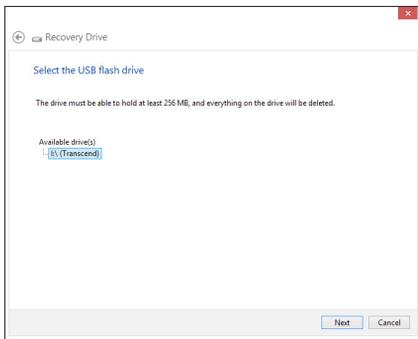
2. コントロールパネルのシステムセキュリティで、「**問題の発見と解決**」をクリックします。

3. 「**回復**」→「**回復ドライブの作成**」の順にクリックし、「**回復パーティションをPCから回復ドライブにコピーします。**」にチェックが入っていることを確認し「**次へ**」をクリックします。



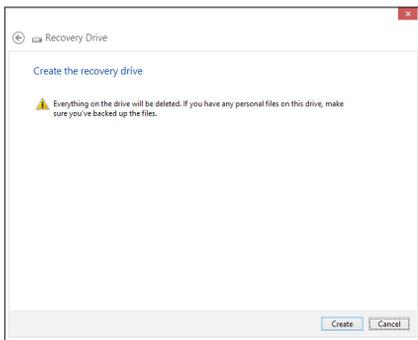
4. リカバリーファイルを保存するUSBストレージデバイスを選択します。

5. 「**次へ**」をクリックします。



6. 「**作成**」をクリックします。作業完了まで暫く時間がかかります。

7. 作業が完了したら「**完了**」をクリックします。



作成したリカバリードライブを利用してWindows® を工場出荷時の状態に戻す

注: 下記の手順は内蔵HDDにパーティションが存在しない場合を想定しています。

手順

1. Windows® 8.1上で作成したリカバリードライブをUSBポートに装着します。
2. PCの電源を投入後、POST中に<F8>キーを押し、ブートデバイスの選択画面を表示します。
3. ブートデバイスの選択画面に表示されているリカバリードライブを選択します。(この画面はキーボードのみ操作可能)
4. 「キーボードのレイアウトの選択」が表示されたら、ご利用のキーボードタイプを選択します。(日本語キーボードでは「Microsoft IME」を選択)
5. 「トラブルシューティング」を選択してクリックします。
6. 「PCを初期状態に戻す」を選択してクリックします。
7. 「次へ」をクリックします。
8. 「はい、ドライブのパーティション分割をやり直します」を選択します。
9. 「ファイルの削除のみを行う」を選択します。

注: 「ドライブを完全にクリーンアップをする」を選択した場合、PCの構成によっては作業に半日以上を費やす場合があります。

10. 「初期状態に戻す」をクリックするとリカバリー作業が開始されます。

PCのリセット

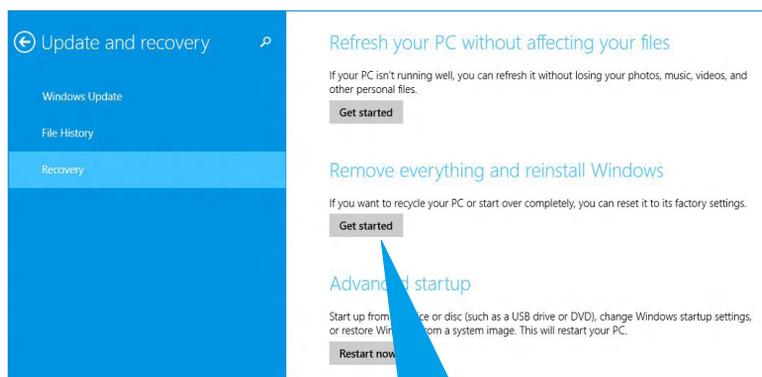
「**PCを初期状態に戻す**」オプションでPCを工場出荷時の設定に戻すことができます。

重要: リカバリーを行うと、データは全て削除されます。実行する前にデータのバックアップを実施してください。

Windows® 8.1の標準機能でリカバリーを実施する

手順

1. スタート画面上でチャームバーを起動し、「**設定**」をクリックします。



Remove everything and reinstall Windows

If you want to recycle your PC or start over completely, you can reset it to its factory settings.

Get started

2. 「**PC設定の変更**」→「**保守と管理**」→「**回復**」の順にクリックします。
3. 「**すべてを削除してWindowsを再インストールする**」の下にある「**開始する**」をクリックします。
4. 「**お待ちください**」のメッセージの後に出現する確認画面の内容を読み、「**次へ**」をクリックします。

5. 「PCに複数のドライブがあります」の画面で「**Windows がインストールされているドライブのみ**」をクリックします。
6. 「**ドライブを完全にクリーンアップしますか?**」の画面で「**ファイルの削除のみ行う**」をクリックします。

注: 「**ドライブを完全にクリーンアップをする**」を選択した場合、PCの構成によっては作業に半日以上を費やす場合があります。

7. 「**PCを初期状態に戻す準備ができました**」の画面で「**初期状態に戻す**」をクリックします。
8. 「**再起動しています**」の画面の後にPCが再起動されPCを初期状態に戻す作業が開始されます。
9. Windows® の初回セットアップと同様に「**ライセンス条項**」の同意とアカウント等の設定入力が必要となります。

<F9>キーを利用してリカバリーを開始する

PCでは起動時に<F9>キーを利用した下記の方法でもリカバリーが開始可能です。

手順

1. PCの電源がオフの状態です。ACアダプターをPCから取り外します。ACアダプターを再接続し、電源をオンにします。起動ロゴが表示されたら、キーボードの「**F9**」を押します。

注:

<F9>キーで「トラブルシューティング」を呼び出せない場合は、Windows®から以下の手順で同様の操作が可能です。

1. スタート画面上でチャームバーを起動し、「設定」→「**PC設定の変更**」→「**保守と管理**」の順にクリックします。
 2. 「回復」をクリックし、「**PCの起動をカスタマイズする**」の下にある「**今すぐ再起動**」をクリックします。
 3. 「お待ちください」のメッセージが出た後に「**オプションの選択**」画面が出現します。
-
2. 「**トラブルシューティング**」をクリックします。
 3. 「**PCを初期状態に戻す**」を選択します。
 4. 「**次へ**」をクリックします。
 5. 「**Windows がインストールされているドライブのみ**」を選択します。
 6. 「**ファイルの削除のみ行う**」を選択します。
 7. 「**初期状態に戻す**」をクリックします。

3

ROG GR8のアップグレード

メモリーをアップグレードする

本機にはSO-DIMMメモリースロットが2基搭載されており、2GB、4GB、8GBのDDR3L SO-DIMM (204ピン) メモリーを取り付けることができます。最大システムメモリーは16 GBです。

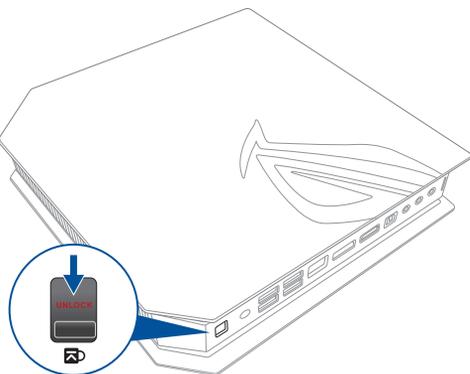
重要: 本機のメモリースロットには、DDR3L (1.35V低電圧) 204ピンのSO-DIMMメモリー以外を取り付けることはできません。

注: 互換性のあるメモリーリストについては、弊社オフィシャルサイト (<http://www.asus.com>) をご参照ください。

手順

1. 本機の電源をオフにします。
2. 本機に接続された周辺機器およびケーブルをすべて取り外します。
3. 側面が下になるよう、本機をデスク等の安定した平らな場所に置きます。
4. バックパネルのラッチを押し下げ、サイドカバーのロックを解除します。

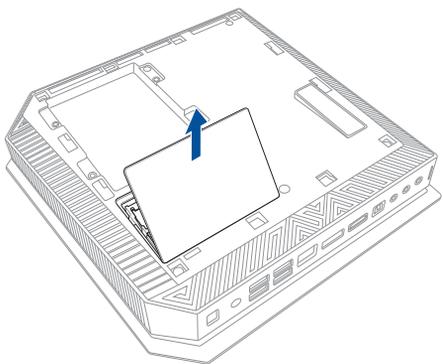
注: サイドカバーを取り外す前に、ラッチの表示が「UNLOCK」になっていることを確認してください。



5. サイドカバーをバックパネルに向かってスライドさせてケースから外し、持ち上げてケースから取り外します。



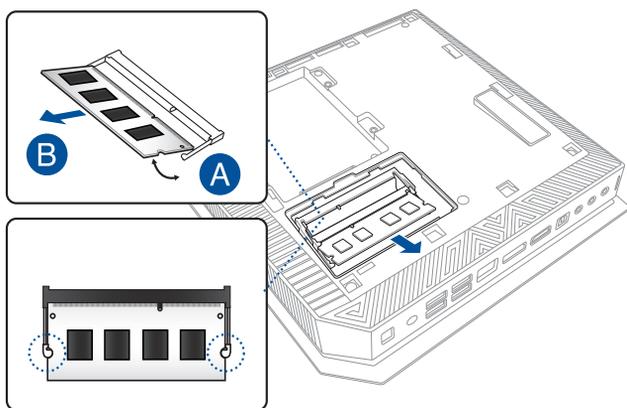
6. SO-DIMMスロットカバーを開けます。



7. メモリーを取り外します。

手順

- A. スロットの両脇にあるクリップを押し、メモリーモジュールのロックを解除します。
- B. 慎重にメモリーモジュールを取り外します。
- C. 他のメモリーを取り外す際も、手順AとBに従います。



注:

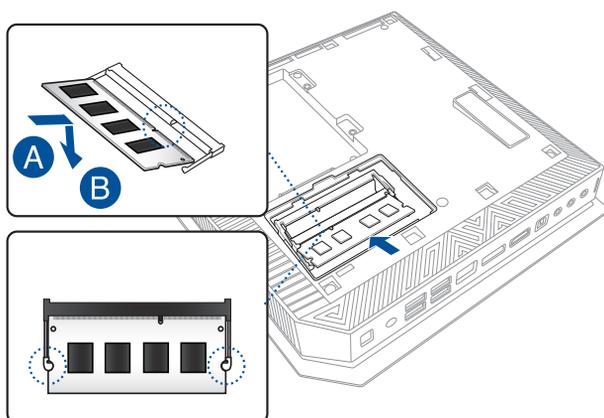
- メモリーを交換する場合は、モデルと速度が同じものを使用してください。
- 下側のメモリーを交換する場合は、上側のメモリーをまず取り外してください。

8. 交換用のメモリーを手元に用意します。
9. 新しいメモリーをスロットに取り付けます。

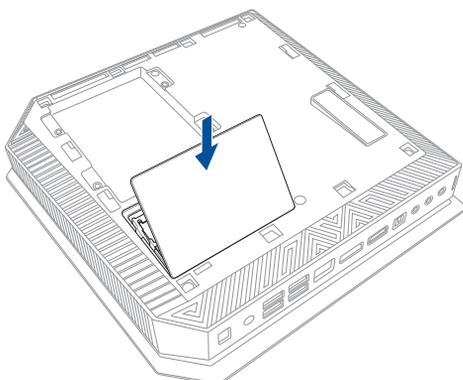
重要:メモリーを取り付ける際は、下側のスロットから使用してください。

手順

向きを確認しながらメモリーをスロット (A) に挿入し、所定の位置に収まるまで押し下げます (B)。



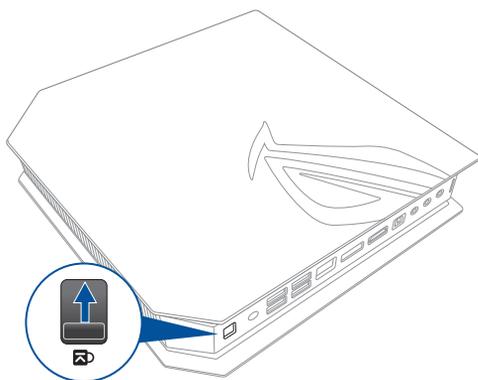
10. SO-DIMMスロットカバーを元に戻します。所定の位置にしっかり取り付けられていることを確認してください。



11. サイドカバーをフロントパネルの方向にスライドし、ケースに取り付けます。



12. ラッチを上げてロックし、サイドカバーをケースに固定します。



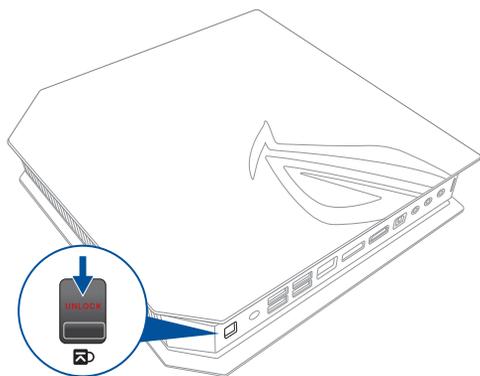
2.5インチストレージドライブの取り付け

本機には2.5インチHDDまたは2.5インチSSDを1台増設することができます。

手順

1. 本機の電源をオフにします。
2. 本機に接続された周辺機器およびケーブルをすべて取り外します。
3. 側面が下になるよう、本機をデスク等の安定した平らな場所に置きます。
4. バックパネルのラッチを押し下げ、サイドカバーのロックを解除します。

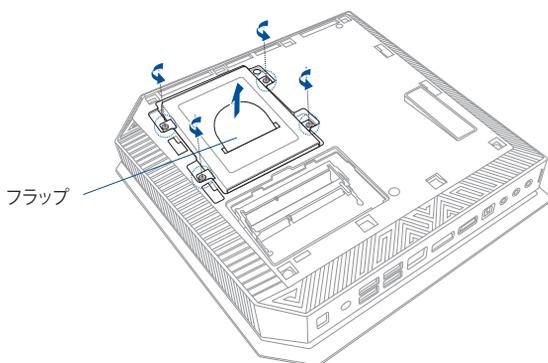
注: サイドカバーを取り外す前に、ラッチの表示が「UNLOCK」になっていることを確認してください。



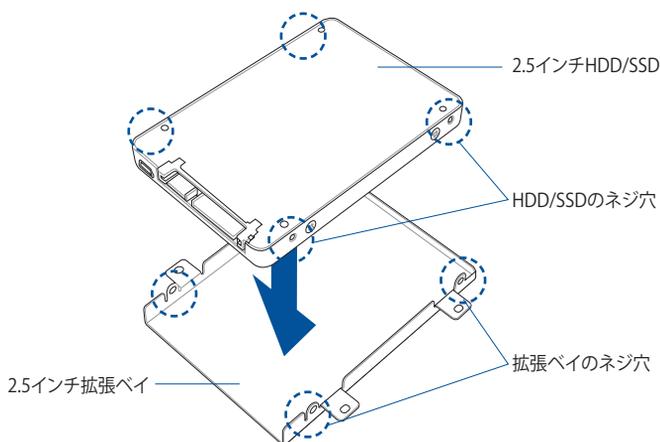
5. サイドカバーをバックパネルに向かってスライドさせ、持ち上げてケースから取り外します。



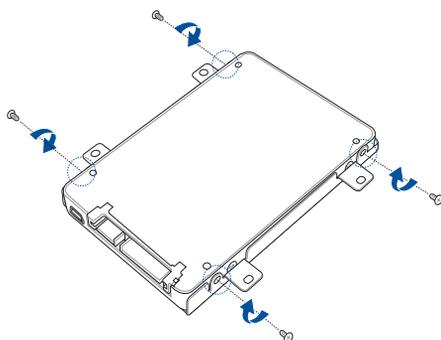
6. 2.5インチHDD/SSDの拡張ベイを固定している4本のネジを外します。
7. フラップを使用し、拡張ベイを引き出しケースから取り外します。



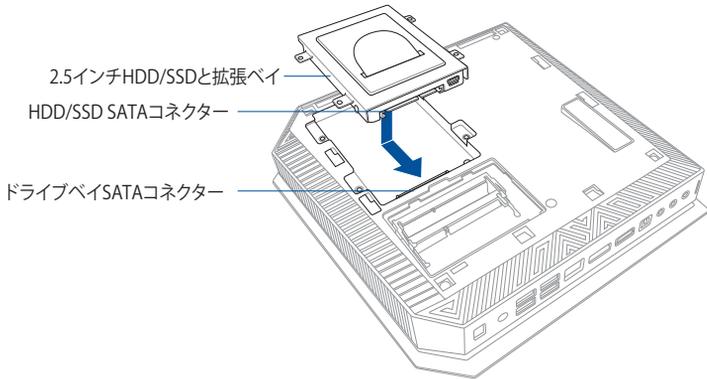
- 2.5インチHDD/SSDと同梱のネジ4本を手元に用意します。
- 図のように拡張ベイを上下逆にし、拡張ベイに2.5インチHDD/SSDを配置します。2.5インチHDD/SSD上のネジ穴と、拡張ベイのネジ穴の位置を合わせます。



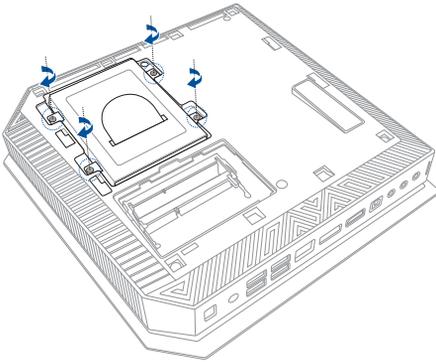
- 同梱のネジを使用し、拡張ベイに2.5インチHDD/SSDを固定します。



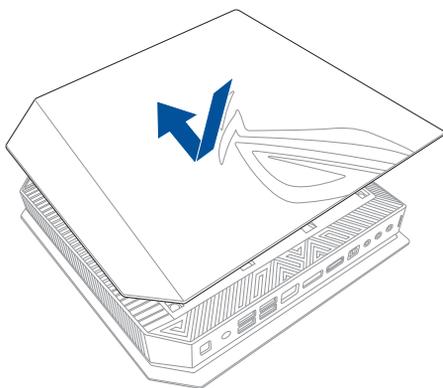
11. ドライブベイに拡張ベイ (2.5インチHDD/SSDを取り付けたもの) をSATAコネクターの方向に慎重にスライドさせます。



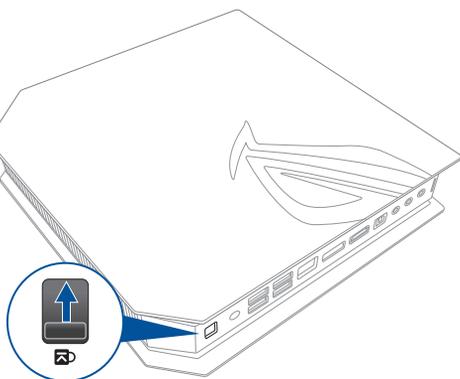
12. 4本のネジで2.5インチ拡張ベイを固定します。



13. サイドカバーをフロントパネルの方向にスライドし、ケースに取り付けます。



14. ラッチを上げてロックし、サイドカバーをケースに固定します。



付録

4

安全上の注意

大切なデータを守り、安全に快適にご使用いただくためのヒントを記載しました。本製品の使用方法に関する記載と併せてお読みください。

システムをセットアップする

- 本機を使用する前に、本マニュアルに記載の説明及び指示をすべて読み、それに従ってください。
- 湿気のある場所および熱を発する熱源のそばで本機を使用しないでください。
- 設置する際は安定した水平面に設置してください。
- ケースの開口部は通気孔です。紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔を塞がないようにしてください。設置の際は、本体と壁などの間にスペースを空けて設置してください。また、通気孔に物を入れる等の行為はお止めください。
- 本機は5°～35°Cの周辺温度でご使用ください。
- 延長コードを使用する際は、接続したすべてのデバイスの定格電流の総量が、延長コードの定格電流を超過しないようにしてください。

使用中のお手入れ

- 電源コードを踏まないでください。また、物を乗せないでください。
- 液体・雨・湿気を避けてください。
- 本機のお手入れの際は、電源を切りACアダプターを取り外してください。
- 以下のような技術的な問題が発生した場合は電源コードを抜き、公認の販売代理店あるいはコールセンターにご相談ください。
 - 電源コード/プラグが破損している。
 - 本機内部に液体が入った。
 - 本マニュアルの指示通りに操作してもシステムが正常に動作しない。
 - 本機が落下した、またはキャビネットが破損した。
 - システムのパフォーマンスに異変が生じた。

リチウムバッテリーに付いての警告

警告: バッテリーの交換は正しく行わないと破裂の原因となります。バッテリーは製造元が指定するもの、またはそれに相当するものをご使用ください。バッテリー廃棄の際は、製造元の指示に従ってください。



本機やバッテリー（該当する場合）を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

電気・電子機器に含有される化学物質の表示 について



資源有効利用促進法では、JIS C 0950:2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報は巻末の表、またはASUSのサイト (<http://green.asus.com/english/>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。

注: コンテンツは全て英語表記です。

ご注意

REACH (原文)

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のごみとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

筐体のコーティングについて

重要: 感電などを防ぐため、本機は絶縁処理が施されている筐体を使用しています(入出力ポート搭載部分を除く)。

Federal Communications Commission Statement (原文)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to

radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

CAUTION: Any changes or modifications not expressly approved by the grantee of this device could void the user's authority to operate the equipment.

RF exposure warning

This equipment must be installed and operated in accordance with provided instructions and the antenna(s) used for this transmitter must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons and must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter. End-users and installers must be provide with antenna installation instructions and transmitter operating conditions for satisfying RF exposure compliance.

Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility according to [EN 301 489-1] & [EN 301 489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz

NOTE: Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01	Ain	02	Aisne	03	Allier
05	Hautes Alpes	08	Ardennes	09	Ariège
11	Aude	12	Aveyron	16	Charente
24	Dordogne	25	Doubs	26	Drôme
32	Gers	36	Indre	37	Indre et Loire
41	Loir et Cher	45	Loiret	50	Manche
55	Meuse	58	Nièvre	59	Nord
60	Oise	61	Orne	63	Puy du Dôme
64	Pyrénées Atlantique	66	Pyrénées Orientales	67	Bas Rhin
70	Haute Saône	71	Saône et Loire	75	Paris
82	Tarn et Garonne	84	Vaucluse	88	Vosges
89	Yonne	90	Territoire de Belfort	94	Val de Marne

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.art-telecom.fr)

NOTE: Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

IC Radiation Exposure Statement for Canada

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with IC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause interference and
- This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

CE Mark Warning



CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC "Electromagnetic compatibility" and 2006/95/EC "Low voltage directive".



CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

Wireless Operation Channel for Different Domains

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

ENERGY STAR **complied product**



ENERGY STAR is a joint program of the U.S. Environmental Protection Agency and the U.S. Department of Energy helping us all save money and protect the environment through energy efficient products and practices.

All ASUS products with the ENERGY STAR logo comply with the ENERGY STAR standard, and the power management feature is enabled by default. The monitor and computer are automatically set to sleep after 10 and 30 minutes of user inactivity. To wake your computer, click the mouse or press any key on the keyboard.

Please visit <http://www.energy.gov/powermanagement> for detail information on power management and its benefits to the environment. In addition, please visit <http://www.energystar.gov> for detail information on the ENERGY STAR joint program.

NOTE: Energy Star is NOT supported on FreeDOS and Linux-based products.

ASUSコンタクトインフォメーション

ASUSTeK COMPUTER INC.

住所 15 Li-Te Road, Peitou, Taipei, Taiwan 11259
電話 +886-2-2894-3447
ファックス +886-2-2890-7798
電子メール info@asus.com.tw
Webサイト www.asus.com.com/

テクニカルサポート

電話 +86-21-38429911
ファックス +86-21-5866-8722, ext. 9101#
オンラインサポート <http://www.asus.com/tw/support/>

ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

住所 800 Corporate Way, Fremont, CA 94539, USA
電話 +1-510-739-3777
ファックス +1-510-608-4555
Webサイト <http://www.asus.com/us/>

テクニカルサポート

サポートファックス +1-812-284-0883
電話 +1-812-282-2787
オンラインサポート <http://www.service.asus.com/>

ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ/オーストリア)

住所 Harkort Str. 21-23, D-40880 Ratingen, Germany
ファックス +49-2102-959911
Webサイト <http://www.asus.com/de>
Online contact <http://eu-rma.asus.com/sales>

テクニカルサポート

電話 +49-1805-010923*
サポートファックス +49-2102-9599-11
オンラインサポート <http://www.asus.com/de/support/>

Manufacturer	ASUSTeK Computer Inc.	
	Tel:	+886-2-2894-3447
	Address:	No. 150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorised representative in Europe	ASUSTeK Computer GmbH	
	Address:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN, GERMANY

EC Declaration of Conformity



We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address:	4F, No. 150, LI-TE Rd., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	Desktop PC
Model name :	GR8

conform with the essential requirements of the following directives:

2004/108/EC-EMC Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 55022:2010+AC:2011	<input checked="" type="checkbox"/> EN 55024:2010
<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-2:2006+A2:2009	<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-3:2008
<input type="checkbox"/> EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	<input type="checkbox"/> EN 55020:2007+A11:2011

1999/5/EC-R&TTE Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 300 328 V1.8.1(2012-06)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-1 V1.9.2(2011-09)
<input type="checkbox"/> EN 300 440-1 V1.6.1(2010-08)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08)
<input type="checkbox"/> EN 300 440-2 V1.4.1(2010-08)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-4 V1.4.1(2009-05)
<input type="checkbox"/> EN 301 511 V9.0.2(2003-03)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-1 V5.2.1(2011-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-2 V5.2.1(2011-07)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-17 V2.2.1(2012-09)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 893 V1.6.1(2011-11)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-24 V1.5.1(2010-09)
<input type="checkbox"/> EN 302 544-2 V1.1.1(2009-01)	<input type="checkbox"/> EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06)
<input type="checkbox"/> EN 302 623 V1.1.1(2009-01)	<input type="checkbox"/> EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09)
<input type="checkbox"/> EN 50360:2001	<input type="checkbox"/> EN 301 357-2 V1.4.1(2008-11)
<input type="checkbox"/> EN 62479:2010	<input type="checkbox"/> EN 302 291-1 V1.1.1(2005-07)
<input type="checkbox"/> EN 50385:2002	<input type="checkbox"/> EN 302 291-2 V1.1.1(2005-07)
<input type="checkbox"/> EN 62311:2008	

2006/95/EC-LVD Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 60950-1 / A12:2011	<input type="checkbox"/> EN 60065:2002 / A12:2011
---	---

2009/125/EC-ERP Directive

<input checked="" type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 1275/2008	<input checked="" type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 278/2009
<input type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 642/2009	<input checked="" type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 617/2013

2011/65/EU-RoHS Directive

Ver. 140331

CE marking



(EC conformity marking)

Position : **CEO**

Name : **Jerry Shen**

Declaration Date: 29/08/2014

Year to begin affixing CE marking: 2014

Signature : _____

DECLARATION OF CONFORMITY

Per FCC Part 2 Section 2. 1077(a)



Responsible Party Name: **Asus Computer International**

Address: **800 Corporate Way, Fremont, CA 94539.**

Phone/Fax No: **(510)739-3777/(510)608-4555**

hereby declares that the product

Product Name : Desktop PC

Model Number : GR8

Conforms to the following specifications:

FCC Part 15, Subpart B, Unintentional Radiators

Supplementary Information:

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Representative Person's Name : Steve Chang / President

A handwritten signature in blue ink that reads "Steve Chang". The signature is written in a cursive style and is placed over a light blue rectangular background.

Signature :

Date : Aug. 29, 2014

Ver. 140331